



学 会 通 信

第 91 号

2019 年 7 月 3 日発行

目次

ICoME2019 のご案内【最終報】	2
2019 年度第 26 回日本教育メディア学会年次大会ご案内【2 次案内】 ..	4
企画委員会による「教師のセルフスタディ」誌の編集・発行について【第 1 報】	8
論文投稿のご案内	11
学会費納入のお願い，入会者・退会者	11

ICoME2019のご案内【最終報】

研究委員会 国際研究会 ICoME 担当

ICoME (International Conference for Media in Education) 2019 は、今回で第 17 回目の実施となります。日本教育メディア学会 (JAEMS), 韓国教育情報メディア学会 (KAEIM), 中国教育工学会 (CAET), アメリカ TCC (Technology, Colleges and Community) オンラインカンファレンスとの連携によって、2019 年 7 月 23 日から 25 日に中国・深圳市にて開催されます。

ICoME は、国内外からの多くの教育研究者や実践者が集まり、教育メディアや教育技術に関する貴重な研究や実践の発表、共有の場となります。本会が、各国の研究者間で行われる互恵的な意見交換の場となりますよう、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

なお、ICoME に関する情報は随時 JAEMS ウェブサイトおよびメーリングリストにて発信していきますので、それらも併せてご確認くださいませようお願いいたします。

日時：2019 年 7 月 23 日 (火) - 25 日 (木)

場所：China Capital Market Institute, 深圳市, 広東省, 中国

※会場が都合により変更となりました。当初予定の会場から距離は大きく離れていませんが、参加をご予定の方は必ずご確認ください。

ホスト：Southern University of Science and Technology

International Centre for Higher Education Innovation under the auspices of UNESCO

テーマ：Artificial Intelligence + Education

※教育メディアに関するその他の発表も広く募集しています。

プログラム：

23 日 (火)：Opening Ceremony / Keynote speech / Concurrent Session (Parallel Forum)

24 日 (水)：Keynote speech / Concurrent Session & Round Table (Parallel Forum)

25 日 (木)：Keynote speech / Closing Ceremony / Study Tour

※プログラムは直前まで変更の可能性があります。随時下記のウェブサイトをご確認ください。

ウェブサイト：<http://icome2019.sustech.edu.cn/>

- ・発表の申し込みは、6 月 15 日をもって締め切られました。
- ・提出用原稿テンプレートのダウンロードはウェブサイトよりできます。

学会までのスケジュール【厳守】：

・アブストラクトの提出締切：2019年6月15日（土）【終了済み】

・原稿提出締切：2019年7月10日（水）

※参加予定の方は、先にレジストレーションを済ませてください。

レジストレーションの承認が行われたのち、アブストラクトの提出が可能となりますので、余裕をもって投稿してください。

参加費：

・ Student attendees：400元（RMB）

・ Member attendees：800元（RMB）

・ Non-member participants：1200元（RMB）

※Student attendeesは、学会の学生会員のみで、非会員の学生はNon-member participantsとなります。

※JAEMS正会員の方はMember attendeesを選択してください。

※参加費の支払いは現地での現金払いがご利用いただけます。クレジットカードでの支払いはできません（国際送金もしくはQRコード決済（WeChat PayとAlipayのみ対応）でも可）。

宿泊場所：

・学会より公式の案内が開始されました。ウェブサイトの「Accommodation」をご覧ください。

※中国側ホストがとりまとめますので、中国側ホストへ直接メールにて申し込みください。

詳細につきましては、ウェブサイトにてご確認ください。

（文責：山本良太）

2019年度第26回日本教育メディア学会年次大会ご案内【2次案内】

2019年度日本教育メディア学会第26回年次大会にあたってのご挨拶

大会実行委員長 林向達（徳島文理大学）

第26回日本教育メディア学会年次大会を2019年11月2日（土）と3日（日）に徳島文理大学で開催いたします。11月4日（月）は振替休日となりますので、ゆったりとしたご予約で徳島にお越しただければと思います。本2次案内では、課題研究の募集に一部追加情報があります。プロポーザルは7月31日まで、一般研究を含む原稿締め切りは9月30日です。ふるってお申し込みください。

徳島県は、四国の東側に位置し、阿波踊りが街中に分散して展開する祭であるのに似て、県内東西南北のあちこちに見どころを擁した土地です。四国八十八ヶ所霊場を巡拝するお遍路もそうですが、時間をかけて初めて味わえる風土というものがあ、昨今の時短社会においてそこが伝わり難いのかもかもしれません。つまりは、何度でも時間を確保してお越しいただき魅力を発見していただく土地ということです。

元号が平成から令和に変わって初めての年次大会となります。教育とメディアにとっての平成を振り返るのに、これほど良い機会はありません。参加者の皆様と歴史にふれながら新たな時代を模索していく場となる年次大会にできればと考えています。大したおもてなしは致せませんが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1. 日時と場所

2019年11月2日（土）、3日（日）

徳島文理大学（徳島キャンパス）〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示 180 9号館6階・7階

アクセス：徳島駅より市バスで15-20分程度（文理大学前下車）

2. 大会プログラム

11月2日（土）

9:30- 受付

10:00-11:30 企画1 オープニングトーク 教育メディア研究のこれから

登壇者：小柳和喜雄（奈良教育大学）・池尻良平（東京大学大学院）・勝見慶子（兵庫教育大学大学院）

11:30-12:30 昼食

12:30-13:20 総会

13:30-15:30 一般研究発表（1件あたり30分発表）※質疑と交代を含む

15:45-17:00 企画2 教育メディアにとっての平成時代（仮）

登壇者：浅井和行（京都教育大学）、中川斉史（徳島県東みよし町立足代小学校）、佐藤和紀（常葉大学）

コーディネーター：林向達（徳島文理大学）

18:00-20:00 懇親会（徳島駅前を予定。大学から駅前までバスを用意します）

11月3日（日）

9:30-11:30 課題研究発表

11:30-12:30 昼食

12:30-14:30 一般研究発表（1件あたり30分発表）※質疑と交代を含む

15:00-16:30 企画3 新たなメディアがつくる令和時代の学校・地域・文化

登壇者：宇治橋祐之（放送文化研究所）、葉山敦美（座間市立図書館）、山内雅博（愛媛県西条市立神戸小学校）

コーディネーター：稲垣忠（東北学院大学）

3. 課題研究プログラム

課題研究1「教師のセルフスタディ」

コーディネーター：谷塚光典（信州大学）・木村明憲（京都教育大学附属桃山小学校）

第9期企画委員会では、教育実践の充実度を学会から発信すること、学校教員による実践研究の第一歩として、学会誌「教育メディア研究」とは別に、教育実践による論文報告集をオンラインで発行することを計画している。そこで、本課題研究においては、自らが計画・実践した教育実践研究について報告を募り、論文報告としてまとめる際に必要な情報について、具体的に検討する。本課題研究での発表は、2019年度に発行する報告集の第1号に投稿できる。初等・中等教育機関に所属する教員の発表を優先するが、高等教育機関において、自ら教育実践を計画・実施した方も対象とする。

課題研究2「メディア・リテラシー教育における教育メディアの可能性」

コーディネーター：宇治橋祐之（NHK放送文化研究所）・中橋雄（武蔵大学）

近年、これまでになかったような内容・構成の「学校放送番組」「デジタル教科書・教材」が見受けられるようになった。また、教師や学習者がツールとして活用する「タブレット端末」や「学習支援システム」なども教育の可能性を切り拓くものとして期待され、研究が進められている。このような新しいタイプのコンテンツやツールとしての教育メディアが、メディア・リテラシー教育に対して、どのような意味や可能性をもつのか検討することは、重要な研究課題であるといえる。そこで、こうしたテーマに関する研究を広く募集し、メディア・リテラシー教育における教育メディアの可能性について、ともに考える場を設けることとした。

課題研究3「情報活用能力の育成とメディアの活用」

コーディネーター：中川一史（放送大学）・稲垣忠（東北学院大学）

新学習指導要領において学習の基盤となる資質・能力の1つとされた情報活用能力は、コンピュータ等の情報手段の基本的な操作、探究や問題解決プロセスにおける情報活用、プログラミング、情報モラ

ル・情報セキュリティを含む複合的な能力である。教科等横断的な視点から教育課程を編成し、その育成を系統的に行うための手法は十分に確立されていない。そこで本課題研究では、情報活用能力の育成に役立つメディアやツールの活用、モデルとなるカリキュラムや体系表の開発、教育課程の運用等、情報活用能力の育成とそれに資するメディアの活用について、幅広い視点から議論したいと考えている。

課題研究 4 「探究におけるメディア活用」

コーディネーター：岸磨貴子（明治大学）・三宅貴久子（東京学芸大学）

教育現場では「探究」を軸とした学習が注目されている。探究学習とは、児童・生徒・学生（以下、総じて“生徒”）の主体的・創造的な学習であり、定式化することが困難な学習活動である。故に教師は、様々なメディアを活用し、学習環境をデザインする。しかし、メディアは一つの道具であって、活用するだけで生徒が探究するわけではない。探究過程において、生徒自らがメディアをどのように意味付けし、自らの探究の道具として活用しているかに注目する必要がある。そこで本課題研究では、探究学習におけるメディア活用に着目しつつ、教師と生徒、生徒同士の相互行為、探究活動における教師の即興的な対応、学習環境のデザインについて幅広く議論をしたい。

4. 大会までのスケジュール

【課題研究について】

- ・プロポーザル（要旨）の締切：2019年7月31日(水)
 - ・課題研究の発表予稿集（本文）原稿提出締切：2019年9月30日(月)
- （要旨および本文の提出先：taikai2019@jaems.jp）

【一般研究について】

- ・一般研究発表の申し込み・原稿提出期限：2019年8月19日(月)～9月30日(月)
 - ・下記5の参加申し込みの後、メールにて発表原稿を添付して提出頂きます。
 - ・英文での提出も受け付けています（上限10件程度）。英文の場合、発表も英語で行います。
- （提出先：taikai2019@jaems.jp）

5. 参加申し込み

- ・参加申し込みは学会年次大会 Web サイトよりお申し込みください（9/30まで）

<http://jaems.jp/conference/>

- ・参加費は、昨年通り、以下の通りとします。

正会員	3000 円（事前）、4000 円（当日）
学生会員	1000 円（事前）、2000 円（当日）
非会員	4000 円（事前）、5000 円（当日） ※ただし、非会員の現職教員は無料
学生非会員	2000 円（事前）、3000 円（当日）
懇親会	5000 円（学生3000 円）

- ・事前支払いは2019年9月30日(月)までです。Webからの参加申し込みの前にお振り込みください。
- なお、懇親会会場の準備の都合上、事前の参加申し込みと入金をお願いします。

※本大会においては、非会員の現職教員の場合、参加を無料と致します。できるだけ多くの参加者にご参集いただき、学会の認知や入会を促す意図がありますので、ご了承願います。

<事前参加申し込みに関わる送金先>

.....

銀行名：みずほ銀行

店名：本郷支店

種目：普通

口座番号：2656908

名義：林向達（リン コウタツ）

.....

※振込手数料は、ご負担ください。

※ご自身の口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、jaems.taikai2019@gmail.com にメールでご連絡ください。

大学事務局を通じた大学名による振込は、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。

・発表者は、参加費とは別に年会費を納めている必要があります。年会費に関する規定は、以下をご覧ください。

<http://jaems.jp/about/kitei/kaihi.html>

・参加者のうち学会員は、本年度の会費をできるだけ事前にお支払いください。当日お支払いいただくこともできますが、事務局の運営にご協力ください。なお、入金口座は、「事前参加申し込みに関わる送金先」と異なり、以下となります。

銀行名：ゆうちょ銀行

種目：普通

店番：418

店名：四一八店（ヨンイチハチ店）

口座番号：0865850

名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガッカイ）

6. その他

・前回大会に引き続き本大会において、発表予稿集は刊行せず、会員の皆様に PDF ファイルの形での配布となります。事前にメールにてダウンロード先の URL をお送りします。ご自身の端末等を持参するか、事前に学会の Web からプログラムを印刷してきてください。

・年次大会に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

第 26 回年次大会事務局

徳島文理大学 林（りん）研究室 電話 088-602-8320 メールアドレス jaems.taikai2019@gmail.com

企画委員会による「教師のセルフスタディ」誌の編集・発行について【第1報】

第9期企画委員会では、教育実践の充実度を学会から発信すること、学校教員による実践研究の第一歩として、学会誌「教育メディア研究」とは別に、教育実践による論文報告集をオンラインで発行することを計画しています。①自らが計画・実践した教育実践であり、②11月に開催される学会年次大会で発表をするという条件を満たしたものについて、2019年度内に発行する報告集の第1号に投稿していただけるように準備をしています。初等・中等教育機関に所属する教員の発表を優先しますが、高等教育機関において、自ら教育実践を計画・実施した方も対象としております。

査読なしの教育実践研究としますが、企画委員会で閲読した上で、修正点をアドバイスします。また、各論文については、企画委員会からひとことコメントを付ける形でその実践の良さや特徴などをより明確にしたうえで発行します。

スケジュールと執筆の手引きについて、以下に掲載しますので、奮ってご投稿ください。投稿先等の情報については、第2報でご案内します。

なお、11月に徳島で開催される年次大会におきましては、この企画と連携させた課題研究「教師のセルフスタディ」を予定しております。投稿を希望する方は、本課題研究で発表していただければ、より充実した投稿に向けて支援できるようにしたいと考えています。(ただし、課題研究には発表数に限りがあります。一般研究で発表していただいた教育実践でも投稿可能です。)

スケジュール

- ・11月2日、3日：(学会年次大会開催) ※3日に課題研究を開催予定
- ・12月20日：締切
- ・1月20日ごろ：閲読結果の返送
- ・2月15日：著者による最終投稿
- ・3月15日：編集完了および公開

電子ジャーナル掲載論文の執筆の手引(第2報以降で修正の可能性あります)

1. 執筆者(筆頭著者)は、学会の正会員でなければいけません。当該年度の年次大会で発表した教育実践を対象とします。共著は可ですが、実践者本人が筆頭著者を務めてください。
2. 原稿は、執筆者自身が教育実践を深く振り返るとともに、読者がその実践を共有し、活かすことができる論文で、6ページ以上、10ページ以下とします。
※「教育メディア研究」をはじめとした学会誌の投稿につなげる実践研究の第一歩という位置付けですので、研究としての新規性は特に求めません。しかし、実践者本人としてより深いリフレクションを心がけたり、客観的なデータを示したりする工夫をしてください。なお、査読は行いませんが、読みやすさを高めるために企画委員会で閲読を行います。

3. 原稿は未発表のものに限ります。ただし、学会の年次大会や研究会などでの発表、プリントの場合は、未発表の扱いとします。
4. 執筆者は、原稿が第三者の著作権その他の権利を侵害していないことを保証するものとします。執筆後に投稿された論文が、第三者の権利等の侵害に起因する問題を生じさせた場合、当該論文の著作者が一切の責任を負うものとします。

5. 投稿方法

企画委員会が用意をする宛先にメールによりご投稿いただきます。

6. 論文の構成

論文はタイトル、要旨（400字以内）、キーワード（6個以内）、本文、注、引用参考文献により構成します。

7. 版組・書式

(1) 版組

- ・用紙：B5・縦置き・横書き
- ・余白：上 24mm，下 22mm，左 20mm，右 24mm
- ・段組：横 20 字×縦 43 行×2 段組（ただし、タイトル、執筆者名、要旨、キーワードは 1 段組）

(2) 行間

- ・タイトル（サブタイトル）前後：各 1 行
- ・執筆者名後：1 行
- ・要旨後：1 行
- ・キーワード後：1 行
- ・見出し前：1 行
- ・欧字執筆者名後：3 行
- ・図・表・写真の上下：各 1 行

(3) 見出しについては、以下のような扱いとします。

- ・1., 2., 3.（最上位の見出し）：見出しと本文の間に 1 行行間
- ・1.1, 1.2., 1.3.（下位の見出し）及びこれ以下のもの：下位の見出しと本文の間は行間なし。

(4) 表記細則

- ・和文は明朝体（MS 明朝，ヒラギノ明朝 pro 等）またはゴシック体（MS ゴシック，ヒラギノ角ゴ pro 等），英文は Century/Times/Times New Roman とし，下記の大きさに準拠します。
- ・タイトル：明朝体（ボールド），12 ポイント，中央寄せ。なお，読点はいれませぬ。
- ・執筆者名：明朝体，9 ポイント，右寄せ

- ・ 執筆者所属：明朝体，9 ポイント，右寄せ
- ・ 要旨：明朝体，8.5 ポイント，両端揃え
- ・ キーワード：明朝体，9 ポイント，両端揃え
- ・ 本文：明朝体，9 ポイント，両端揃え
- ・ 見出し・小見出し：ゴシック体（ボールド），9 ポイント，左寄せ
- ・ 図/写真タイトル：ゴシック体，9 ポイント，図/写真下部に左寄せ
- ・ 表タイトル：ゴシック体，9 ポイント，表上部に中央寄せ
- ・ 欧字執筆者名：Century/Times/Times New Roman，9 ポイント，右寄せ
- ・ 数字・欧字は，すべて半角に統一する（ただし固有名詞・慣用句の数字は漢数字）。
- ・ 句読点は，「，」「。」です。
- ・ 表記は，引用文を除き，常用漢字・新送り仮名を原則とします。
- ・ 年代表記は，西暦とし元号を用いる場合は，西暦（元号）とします。
- ・ 人名は初出の場合は，氏名表記とし，再出では氏のみでの表記とする。なお外国人の場合はカタカナ表記とし，パーレン括弧によって欧字表記もつけます。例：ジョン・デューイ（John Dewey）
- ・ 差別用語を用いないように細心の注意を払ってください。

8. 注・引用・参考

注・引用・参考の方法および文献の表記方法については，日本教育工学会 (<http://www.jset.gr.jp/thesis/index.html>) の方法を参照してください。

9. 掲載後の著作権

- (1) 電子ジャーナルに掲載された論文の著作権は，本学会に帰属します。また，著作者は，本学会が作成する Web サイトに論文を掲載・提供することに許諾したものとします。
- (2) 論文について，執筆者自身による教育目的での利用（著者自身による著作物への転載，Web サイトへの掲載，複写による配布等を含む）は，本学会に許諾申請をする必要はありません。ただし，出典(論文題目，電子ジャーナル名，掲載年等)を記載してください。

論文投稿のご案内

編集委員会（委員長／黒上晴夫：関西大学）

『教育メディア研究』（Vol.26, No.2）の特集テーマを「深い学びと教育メディア」とします。締切は2019年8月31日（土）です。

本テーマにかかわらず、一般の投稿も随時受け付けています。

学会費納入のお願い，入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日）の年会費（正会員7,000円，学生会員4,000円）が未納の方は，下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

- ※ 振込手数料は，ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合，手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は，振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後，事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には，学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は，学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ，デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では，「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また，学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために，学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は，事務局までメールアドレス，お届け先住所の情報をお送りくださるよう，よろしくお願いいたします。

【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員 (4名)・・・長島利行, 高橋麻理, 三上明洋, 海道朋美

新入会員・学生会員 (5名)・・・山野井優人, 林傑暁, 春日未来, 真伏克明, 宮城祐太郎

種別変更 (1名)・・・小川もも美

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条の改正が承認されました。改正された規定では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。

会費の納入状況についてご不明な点がありましたら、事務局 (office@jaems.jp) までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

(1) 正会員, 学生会員, 団体会員ならびに購読会員が、会費を3年間滞納したとき、その年度末をもって除籍され、会員の資格を喪失する。

(2) 除籍された元会員が再入会するとき、滞納会費の納入を要する。

会員総数 347名・16団体

名誉会員 : 4名

正会員 : 309名

学生会員 : 34名

団体会員 : 6団体

購読会員 : 10団体

(令和元年6月24日 現在)

日本教育メディア学会 事務局	広報委員会
〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学 永田智子 研究室内 E-mail : office@jaems.jp 学会ホームページ URL : http://jaems.jp/	委員長 渡辺雄貴 (東京理科大学) 副委員長 岩崎千晶 (関西大学) 委員 井ノ上憲司 (大阪大学) 遠海友紀 (東北学院大学) 竹中喜一 (愛媛大学) 多田泰紘 (関西大学)